国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙，目次，奥付，その他

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/1092

国立国語研究所 74

研究報告集

— 4 —

国立国語研究所

1983

刊行のことば

『研究報告集』は，国立国語研究所において，所員がそれぞれの研究段階で行った基礎的研究や附随的研究，また研究方法に関する実験的調査，結果を確認するための検証調査等についての小報告をまとめて公にするものです。

今回は，4編の論文をもってその第4集とし，ここに刊行することにしました。

国語研究の上に寄与することができ，また教示，批判が得られれば幸いです。

昭和57年12月

国立国語研究所長　野　元　菊　雄

目　　次

迂言的なうけみ表現……村木新次郎…… 1

動詞とその下接語の発達の実態 ……大久保　愛……41
——一男児の２歳から３歳前半まで——

小学校低学年用国語教科書の用語 ……島村　直己……77

分散処理端末における簡易型エディタ
について ……斎藤　秀紀…… 209

『研究報告集』収録論文一覧

第1集

「も」によるとりたて形の記述的研究　高橋太郎

雑誌九十種資料の漢語表記　宮島達夫・高木　翠

談話行動の実験社会言語学的研究——目標と資料収集方法について——
江川　清

身ぶりの記述について　江川　清

身振りを記録する——「変位」の記録表試案——　杉戸清樹

談話行動の計量的研究について　米田正人

表現法の調査方法について　佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄

明治初期東京人の階層と語種との関係
——『安愚楽鍋』を中心として——　飛田良文

第2集

意味分野と語種　宮島達夫

日本語の機能動詞表現をめぐって　村木新次郎

談話行動の総合テクストについて　南　不二男・江川　清・米田正人・
杉戸清樹

文章朗読における調音上の特徴について　高田正治

幼児の使用語と語の意味の理解
——満2歳当日の一日調査から——　大久保　愛

語の意味発達——最近の研究動向から——　岩田純一

談話における「はい」と「ええ」の機能　日向茂男

音韻論における日本語五母音体系　石井久雄

第3集

コ・ソ・アの指示領域について　高橋太郎・鈴木美都代

叙法副詞の意味と機能——その記述方法を求めて——　工藤　浩

私生児を意味する方言のこと　渡辺友左

撥音の実験音声学的研究　高田正治
新聞の漢字含有率の変遷——明治・大正・昭和を通じて——　梶原滉太郎
就学前幼児の語彙——4児による日常生活語の実態——
大久保　愛・川又瑠璃子
各種文章の字種比率　佐竹秀雄

国立国語研究所刊行書一覧

国立国語研究所報告

1	八丈島の言語調査	秀英出版刊	品切れ
2	言語生活の実態 ——白河市および付近の農村における——	〃	〃
3	現代語の助詞・助動詞 ——用法と実例——	〃	2,000円
4	婦人雑誌の用語 ——現代語の語彙調査——	〃	品切れ
5	地域社会の言語生活 ——鶴岡における実態調査——	〃	〃
6	少年と新聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	〃	〃
7	入門期の言語能力	〃	〃
8	談話語の実態	〃	〃
9	読みの実験的研究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析——	〃	〃
10	低学年の読み書き能力	〃	〃
11	敬語と敬語意識	〃	〃
12	総合雑誌の用語(前編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
13	総合雑誌の用語(後編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
14	中学年の読み書き能力	〃	〃
15	明治初期の新聞の用語	〃	〃
16	日本方言の記述的研究	明治書院刊	〃
17	高学年の読み書き能力	秀英出版刊	〃
18	話しことばの文型 (1) ——対話資料による研究——	〃	〃
19	総合雑誌の用字	〃	〃
20	同音語の研究	〃	〃
21	現代雑誌九十種の用語用字 (1) ——総記および語彙表——	〃	〃
22	現代雑誌九十種の用語用字 (2) ——漢字表——	〃	〃

23	話しことばの文型(2) ——独話資料による研究——	秀英出版刊	品切れ
24	横組みの字形に関する研究	〃	〃
25	現代雑誌九十種の用語用字(3) ——分　析——	〃	〃
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	2,100円
27	共通語化の過程 ——北海道における親子三代のことば——	秀英出版刊	品切れ
28	類義語の研究	〃	〃
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本言語地図(1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30-2	日本言語地図(2)	〃	〃
30-3	日本言語地図(3)	〃	〃
30-4	日本言語地図(4)	〃	〃
30-5	日本言語地図(5)	〃	〃
30-6	日本言語地図(6)	〃	〃
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	〃
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	〃	〃
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電子計算機による国語研究(Ⅱ) ——新聞の用語用字調査の処理組織——	〃	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	〃	450円
36	中学生の漢字習得に関する研究	〃	5,000円
37	電子計算機による新聞の語彙調査	〃	品切れ
38	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅱ)	〃	2,800円
39	電子計算機による国語研究(Ⅲ)	〃	700円
40	送りがな意識の調査	〃	1,500円
41	待遇表現の実態 ——松江24時間調査資料から——	〃	900円
42	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ)	〃	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	〃	6,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	〃	4,000円

45	幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究(Ⅳ)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) ——性向語彙と価値観——	〃	700円
48	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅳ)	〃	3,000円
49	電子計算機による国語研究(Ⅴ)	〃	900円
50	幼児の文構造の発達 ——3歳～6歳児の場合——	〃	品切れ
51	電子計算機による国語研究(Ⅵ)	〃	1,000円
52	地域社会の言語生活 ——鶴岡における20年前との比較——	〃	1,800円
53	言語使用の変遷 (1) ——福島県北部地域の面接調査——	〃	2,500円
54	電子計算機による国語研究(Ⅶ)	〃	1,000円
55	幼児語の形態論的な分析 ——動詞・形容詞・述語名詞——	〃	品切れ
56	現代新聞の漢字	〃	〃
57	比喩表現の理論と分類	〃	6,000円
58	幼児の文法能力	東京書籍刊	5,500円
59	電子計算機による国語研究(Ⅷ)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 ——フォネーム研究序説——	〃	2,500円
61	電子計算機による国語研究(Ⅸ)	〃	1,300円
62	研究報告集 (1)	〃	1,700円
63	児童の表現力と作文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円
65	研究報告集 (2)	〃	3,000円
66	幼児の語彙能力	東京書籍刊	8,000円
67	電子計算機による国語研究(Ⅹ)	秀英出版刊	1,500円
68	専門語の諸問題	〃	4,000円
69	幼児・児童の連想語彙表	東京書籍刊	6,800円
70-1	大都市の言語生活 ——分析編——	三省堂刊	7,800円
70-2	大都市の言語生活 ——資料編——	〃	12,000円

71	研究報告集 (3)	秀英出版	4,800円
72	幼児・児童の概念形成と言語	東京書籍	6,800円
73	企業の中の敬語	三省堂	9,500円

国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目（昭和17～24年）	秀英出版刊	45円
2	語彙調査 ——現代新聞用語の一例——	〃	品切れ
3	送り仮名法資料集	〃	〃
4	明治以降国語学関係刊行書目	〃	〃
5	沖縄語辞典	大蔵省印刷局刊	3,500円
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,800円
7	動詞・形容詞問題語用例集	〃	1,700円
8	現代新聞の漢字調査（中間報告）	〃	500円
9	牛店雑談 安愚楽鍋用語索引	〃	1,500円
10-1	方言談話資料 (1) ——山形・群馬・長野——	〃	6,000円
10-2	方言談話資料 (2) ——奈良・高知・長崎——	〃	6,000円
10-3	方言談話資料 (3) ——青森・新潟・愛知——	〃	6,000円
10-4	方言談話資料 (4) ——福井・京都・島根——	〃	6,000円
10-5	方言談話資料 (5) ——岩手・宮城・千葉・静岡——	〃	6,000円
10-6	方言談話資料 (6) ——鳥取・愛媛・宮崎・沖縄——	〃	6,000円
11	日本言語地図語形索引	大蔵省印刷局刊	1,500円

国立国語研究所研究部資料

幼児のことば資料 (1)	秀英出版刊	3,800円
幼児のことば資料 (2)	〃	3,800円
幼児のことば資料 (3)	〃	6,000円
幼児のことば資料 (4)	〃	6,000円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	〃	〃
3	ことばの研究 第3集	〃	〃

4	ことばの研究	第4集	〃	1,300円
5	ことばの研究	第5集	〃	1,300円

日本語教育教材

1	日本語と日本語教育 ——発音表現編——	国立国語研究所 文化庁共編	大蔵省印刷局刊	650円
2	日本語と日本語教育 ——文字表現編——		〃	850円
3	日本語の文法（上）	——日本語教育指導参考書4——	大蔵省印刷局刊	450円
4	日本語の文法（下）	——日本語教育指導参考書5——	〃	550円
5	日本語教育の評価法	——日本語教育指導参考書6——	〃	700円
6	中・上級教授法	——日本語教育指導参考書7——	〃	500円
7	日本語の指示詞	——日本語教育指導参考書8——	〃	500円
8	日本語教育基本語彙七種　比較対照表	——日本語教育指導参考書9——	〃	1,000円

国立国語研究所年報　秀英出版刊

1	昭和24年度	品切れ	17	昭和40年度	品切れ
2	昭和25年度	〃	18	昭和41年度	300円
3	昭和26年度	160円	19	昭和42年度	300円
4	昭和27年度	160円	20	昭和43年度	品切れ
5	昭和28年度	品切れ	21	昭和44年度	〃
6	昭和29年度	200円	22	昭和45年度	〃
7	昭和30年度	品切れ	23	昭和46年度	450円
8	昭和31年度	〃	24	昭和47年度	450円
9	昭和32年度	〃	25	昭和48年度	品切れ
10	昭和33年度	〃	26	昭和49年度	600円
11	昭和34年度	〃	27	昭和50年度	700円
12	昭和35年度	350円	28	昭和51年度	非売
13	昭和36年度	160円	29	昭和52年度	非売
14	昭和37年度	220円	30	昭和53年度	800円
15	昭和38年度	250円	31	昭和54年度	1,200円
16	昭和39年度	品切れ	32	昭和55年度	1,300円

17　昭和56年度　品切れ

国語年鑑　秀英出版刊

昭和29年版	品切れ	昭和44年版	品切れ
昭和30年版	〃	昭和45年版	1,500円
昭和31年版	〃	昭和46年版	2,000円
昭和32年版	〃	昭和47年版	2,200円
昭和33年版	〃	昭和48年版	2,700円
昭和34年版	〃	昭和49年版	3,800円
昭和35年版	〃	昭和50年版	3,800円
昭和36年版	〃	昭和51年版	4,000円
昭和37年版	〃	昭和52年版	品切れ
昭和38年版	〃	昭和53年版	4,600円
昭和39年版	〃	昭和54年版	4,800円
昭和40年版	〃	昭和55年版	5,200円
昭和41年版	〃	昭和56年版	6,500円
昭和42年版	〃	昭和57年度	5,500円
昭和43年版	〃		

高校生と新聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共著	金沢書店刊	品切れ
国立国語研究所三十年のあゆみ ——研究業績の紹介——		秀英出版刊	1,500円

日本語教育教材映画一覧

（各巻16ミリカラー，5分，日本シネセル社販売）

巻	題名	プリント価格
第1巻*	これは かえるです ——「こそあど」＋「は～です」——	30,000円
第2巻*	さいふは どこにありますか ——「こそあど」＋「～がある」——	〃
第3巻*	やすくないです，たかいです ——形容詞とその活用導入——	〃

第4巻* なにを しましたか ——動　　詞—— 30,000円

第5巻* しずかなこうえんで ——形容動詞—— 〃

第6巻* さあ，かぞえましょう ——助　数　詞—— 〃

第7巻　うつくしいさらに なりました ——「なる」「する」—— 〃

第8巻* きりんは どこにいますか ——「いる」「ある」—— 〃

第9巻* かまくらを あるきます ——移動の表現—— 〃

第10巻　おかねを とられました ——受身の表現1—— 〃

第11巻* どちらが すきですか ——比較・程度の表現—— 〃

第12巻* もみじが とてもきれいでした ——です，でした，でしょう—— 〃

第13巻* きょうは あめが ふっています ——して，している，していた—— 〃

第14巻* そうじは してありますか ——してある，しておく，してしまう—— 〃

第15巻* おみまいに いきませんか ——依頼・勧誘の表現—— 〃

第16巻* なみのおとが きこえてきます ——「いく」「くる」—— 〃

第17巻　みずうみのえを かいたことがありますか ——経験・予定の表現—— 〃

第18巻* あのいわまで およげますか ——可能の表現—— 〃

第19巻　よみせを みに いきたいです ——意志・希望の表現—— 〃

第20巻　てんきが いいから さんぽを しましょう ——原因・理由の表現—— 〃

第21巻　さくらが きれいだ そうです ——伝聞・様態の表現—— 〃

第22巻　あめに ふられて こまりました ——受身の表現2—— 〃

第23巻　おけいこを　みにいっても　いいですか ——許可・禁止の表現—— 〃

第24巻　あそこに　のぼれば　うみが　みえます ——条件の表現1—— 〃

第25巻　いえが　たくさんあるのに　とてもしずかです ——条件の表現2—— 〃

第1巻～第3巻は，文化庁との共同企画

ＶＴＲ価格1/2インチオープンリール21,000円，3/4インチカセット20,000円

* 印については日本語教材映画解説の冊子がある。

昭和58年3月

国立国語研究所

〒115　東京都北区西が丘 3—9—14
電話東京 (900) 3111 (代表)

UDC　809.56 (082)
NDC　810.5

OCCASIONAL PAPERS –4–

MURAKI Shinjiro: On the Periphrastic Passive Expression in Modern Japanese

OKUBO Ai: A Study of Verbs and Suppositions from 2;0 to 3;5

SHIMAMURA Naomi: Vocabulary of Japanese Textbooks Used in the Lower Grades of Elmentary School

SAITO Hidenori: A Compact Editor in the Distributed Data Processing Terminal Systems

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE
3-9-14 NISIGAOKA, KITA-KU, TOKYO
1983